テレビマガジン増刊　カラースペシャル 13

ゲゲゲの鬼太郎 大画報

©一九八六／水木プロ・東映動画

たち

鬼太郎となかまの妖怪たちは、「ゲゲゲの森」で、楽しくくらしている。みんな、人間が大すきな、正義の妖怪だ。
ときどき、人間の友だちのユメコちゃんや、弟の星郎くんをしょうたいして、パーティーをひらく。

ゲゲゲの森のなかま
天童ユメコ
鬼太郎
ねこむすめ
目玉のおとうさん
子泣きじじい
すなかけばばあ

つけろ!
人間にうらみをいだく妖怪たちが、つぎつぎによみがえった。悪の妖怪たちがあばれだしたら、町は大こんらんになってしまう!
鬼太郎たち、正義の妖怪は、力をあわせて悪の妖怪とたたかうぞ!
▲百々じじい

悪い妖怪たちをやっ
▲見上げ入道
▼たんたん坊
▶天邪鬼
▼二口女
▶ぬらりひょん
▶かまいたち
▲鏡じじい
▶さら小僧
▶ほうこう

ふしぎなひみつ

鬼太郎は、ふしぎな超能力をたくさんもった、ゆうれい族の妖怪少年だ。おはかの中からうまれ、目玉のおとうさんにそだてられた。

鬼太郎の
▼かみの毛を，はりのようにしてとばす，妖気をかんじることもできる。
▼鬼太郎の左目には、おとうさんがはいっている。
▲仙人のひげでつくられている服。100年たってもやぶれない。
▼祖先の霊毛であんだ，ちゃんちゃんこ。鬼太郎をまもってくれる。
▶手首をきられても，もとにもどるし，指の先をてっぽうのように，はっしゃすることもできる。
▼おとうさんが，桃太郎からもらった，鬼のパンツ。
鬼太郎のおもいどおりに，うごくげた。

これが鬼太郎の妖戦力だ！

妖怪少年、鬼太郎は、ふしぎなぶきで、たたかうぞ！

1 指でっぽう

小型ミサイルのように，指の先をはっしゃして，てきをこうげきする。

2 霊毛ちゃんちゃんこ

祖先の霊毛（かみの毛）でつくられている。なげると，てきにからみつく。

3 カメレオン舌

カメレオンのようにのびちぢみする舌を，てきにまきつけ，しめあげる。

7 妖怪ぶえ

一反もめんが，遠くにいても，よびよせられる。剣やむちにもなる。

6 リモコンげた

げたを，おもいどおりにコントロールして，てきにぶつける。

5 かみの毛ばり

念力で，かみの毛をかたいはりにかえて，はっしゃする。

4 妖気アンテナ

かみの毛をたてて，妖気（妖怪の気配）をかんじとる。

子泣きじじいのひみつ

四国の山の中で、人がまよっていると、あかんぼうのなき声をあげる。だきあげると、しがみついてはなれず、どんどん重くなって、うごけなくさせてしまう妖怪。
岩もくだくほど、かたい頭をもっている。

人間にいたずらすることもあるけれど、ほんとうは、やさしいおじいさん。あかんぼうのようなすがたをしている。

子泣きじじいのすみかは，山おくの古い大木にできた，あなの中にある。

けばばあのひみつ

奈良県の竹やぶにすんでいる。ときどき神社などの竹やぶにでかけていっては、すなをぱらぱらとまき、人をおどろかせて楽しんでいる。
胃ぶくろの中から、たくさんのすなをはきだして、火をけしたりすることもある。

鬼太郎の母親がわりになっている、やさしいおばあさん。
つめの間から、すなをまきちらしたり、かみの毛からすなをはっしゃしたりする。

すなかけばばあは，妖怪アパートの大家さん。マンションタイプのアパートもあるよ。

ゲゲゲの鬼太郎

天童ユメコ

鬼太郎の人間の友だち。聖ソフィア学園にかよう、かわいい女の子だ。星郎という弟がいる。

悪い妖怪たちは、いつもどこかで人間をねらい、平和をみだそうとたくらんでいる。

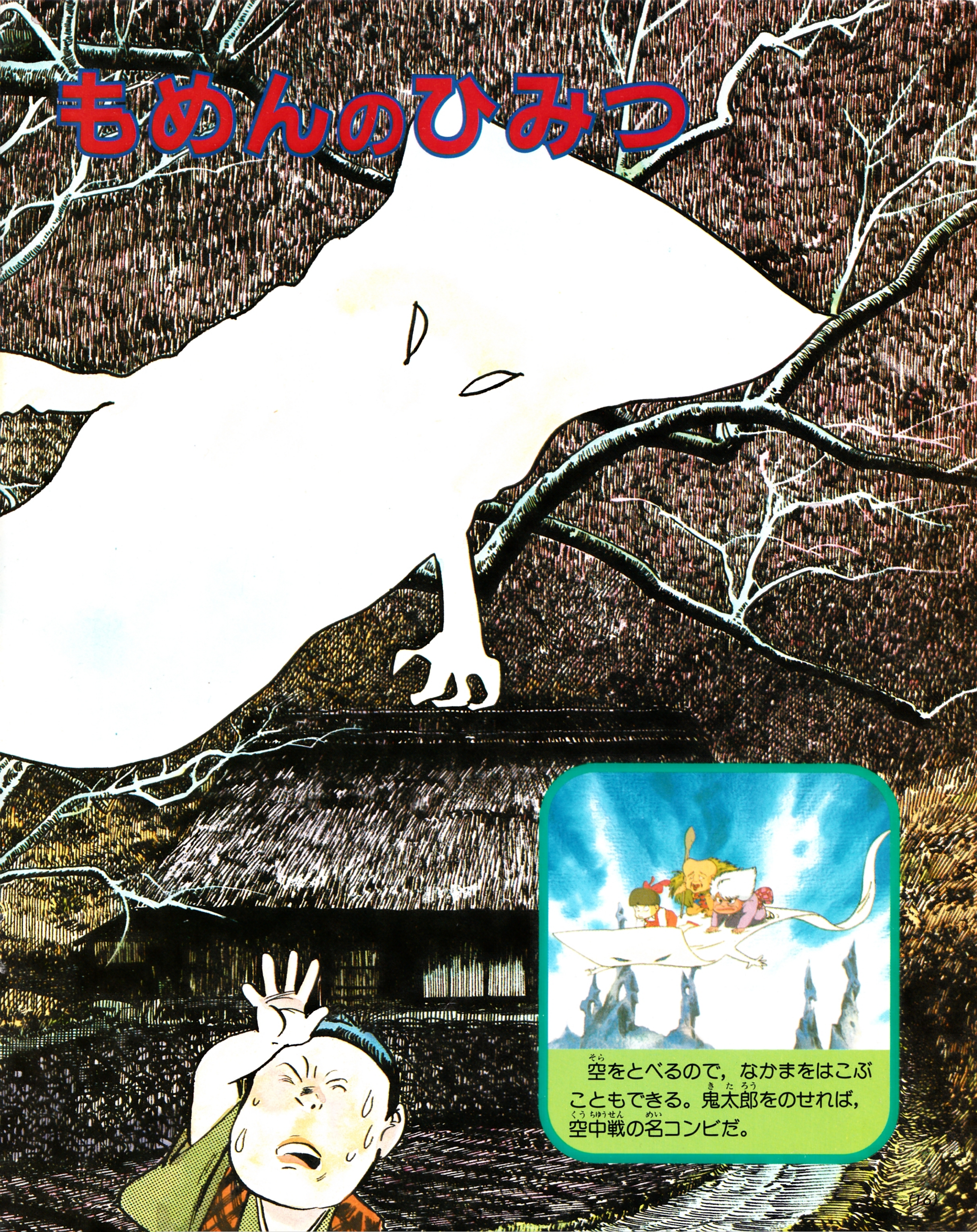
鬼太郎は、人間をこまらせている妖怪があらわれると、すぐに人間の町にきて、たすけてくれる。鬼太郎たち、正義の妖怪は、人間となかよくくらすのがすきなんだ。

人間の町をまもれ！

鬼太郎は，鏡じじいとたたかったときに，ユメコちゃんとしりあった。

▲高速道路であばれる，たんたん坊。

もめんのひみつ



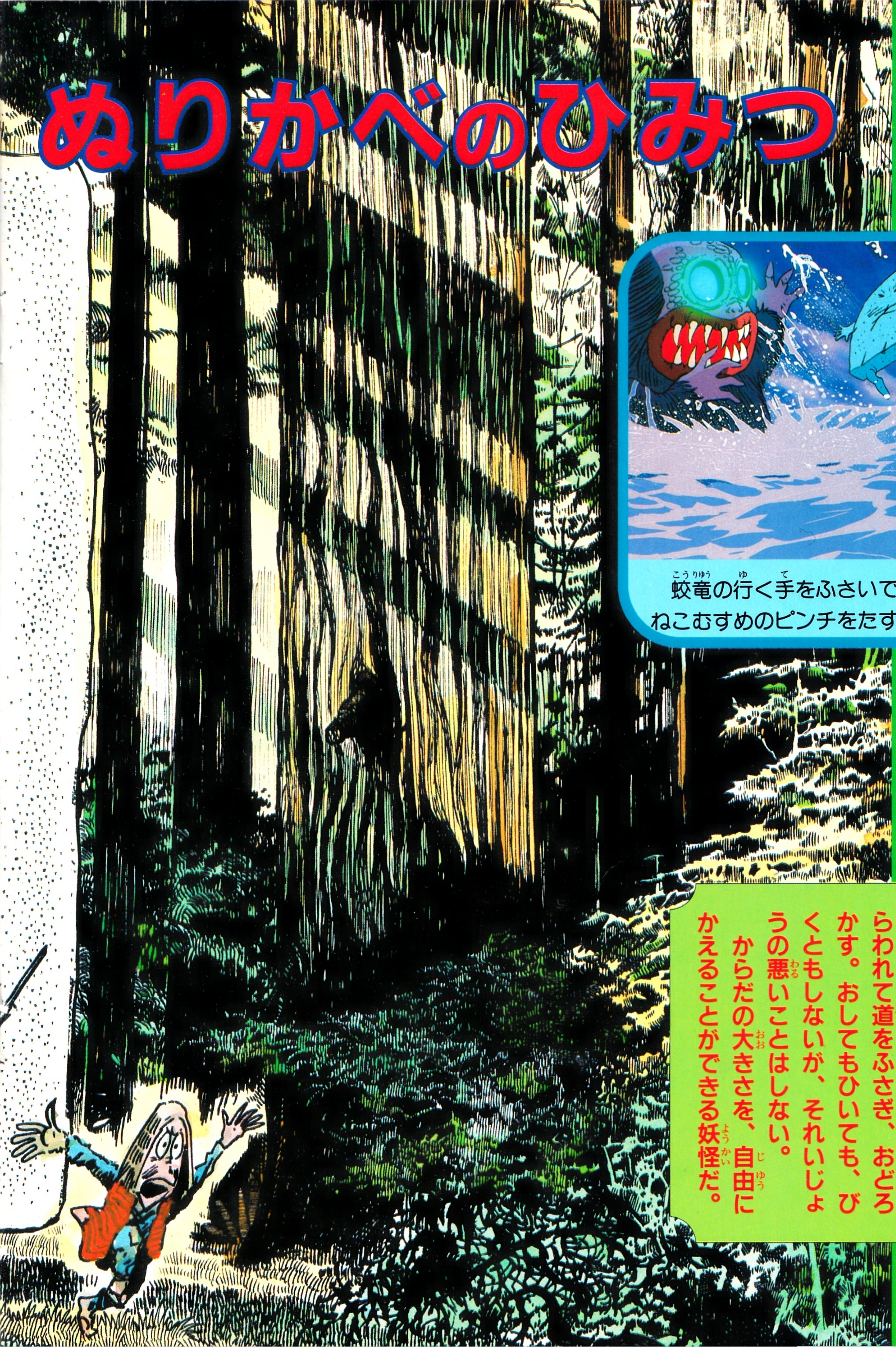
空をとべるので，なかまをはこぶこともできる。鬼太郎をのせれば，空中戦の名コンビだ。

鬼太郎のなかま③

一反

鹿児島県の大隅地方に、よくあらわれる妖怪。
長い布きれが、ふわふわただよっているようだけれど、ゆだんをしていると、からだにまきついて、しめつける。
はさみできられても、水でぬらせば、もとにもどる。

ぬりかべのひみつ



蛟竜の行く手をふさいで，鬼太郎とねこむすめのピンチをたすけた。

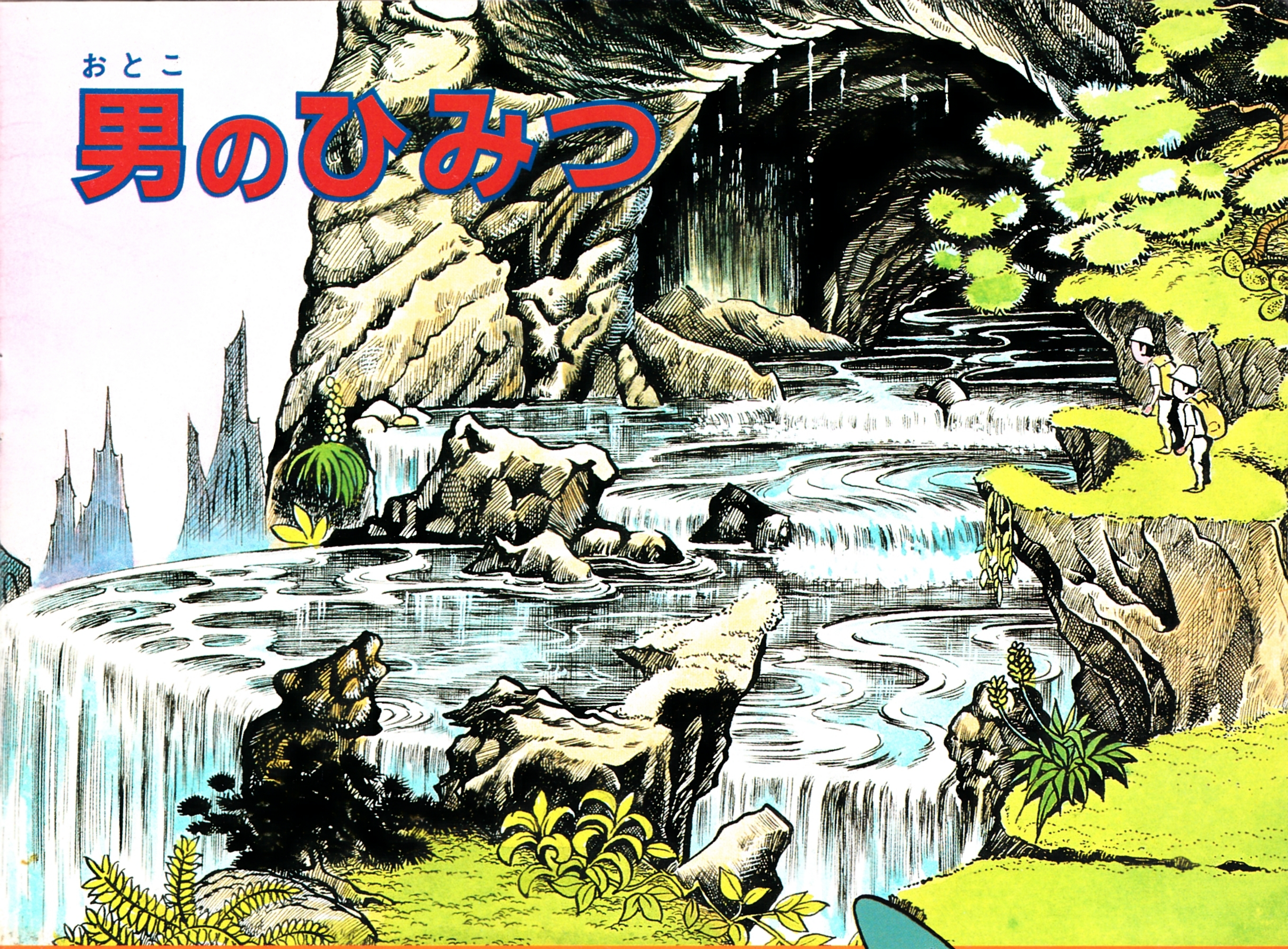
山の中や夜の海岸など、人気のない場所に、とつぜんあらわれて道をふさぎ、おどろかす。おしてもひいても、びくともしないが、それいじょうの悪いことはしない。

からだの大きさを、自由にかえることができる妖怪だ。

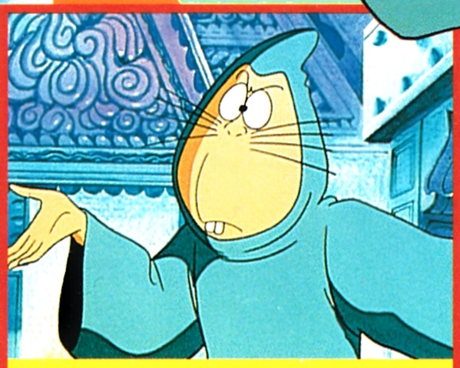
鬼太郎のなかま④

▲からだの中に水をためていて，
水をはきだしたり，きりをふく。

男のひみつ



▼ねずみ男は，鬼太郎の親友だけれど，ときどきうらぎるしようがないやつ。ねずみのせいか，ねこむすめはにがてなんだ。



ずるがしこくてがめつくて，しかもなまけもの。300年もいきてきたらしい。

うまれてから一度もおふろにはいったことがなく，10メートル先のはえがおちる，くさい息をはく。

鬼太郎のなかま⑤

ねずみ

▶怪奇大学の卒業証書がはいっているという，つつ。

人間と妖怪の血をひく半妖怪。山おくの温泉でピラニアをかい、温泉につかりにくる動物をたべさせている。こうしてふとったピラニアをたべて、のんびりとくらしている。

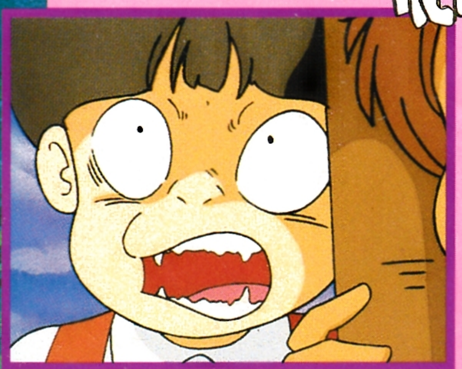
怪奇大学の卒業証書だというあやしげなつつをもっている。

◀たべたピラニアのほね。

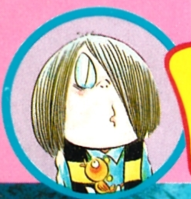
鬼太郎のなかま⑥

ねこむすめのひみつ

鬼太郎のガールフレンド。ふだんは，ふつうの女の子だけど，さかなやねずみのにおいで，ばけねこに変身。



◀おこると、歯がとがって、おそろしい顔になる。



の家の中！

鬼太郎の家は，ゲゲゲの森のまん中にある。目玉のおとうさんと2人ぐらしだけど，いつもなかまがあそびにくるので，にぎやかだ。

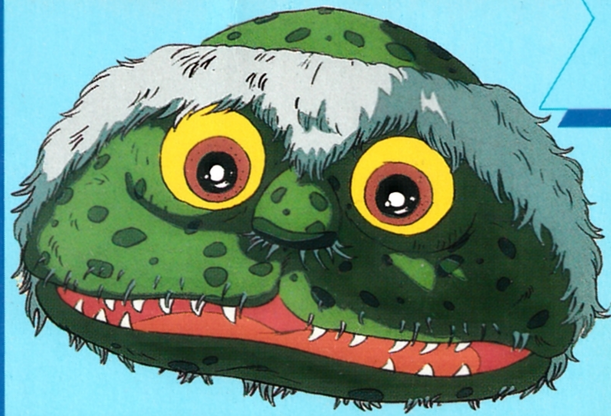
■虫かご
あやしいものが家にちかづくと、きけんをしらせる虫たちが、すんでいる。
ふだんは、虫の音楽をきかせてくれる。

■ふとん
電木という木の葉でできていて、冬はあたたかく、夏はすずしい。鬼太郎いがいのものがさわると、しびれてしまう。

●鬼太郎

妖怪ものしり百科

かまいたち
◆風にのって空をとび、子どもたちをさらって、妖怪城につれていく。



たんたん坊
◆妖怪城のボス。口からたんをはき，てきのからだをかためてしまう。

●鬼太郎となかよしの妖怪や、鬼太郎をたおそうとする妖怪たちが、ぞくぞく登場。

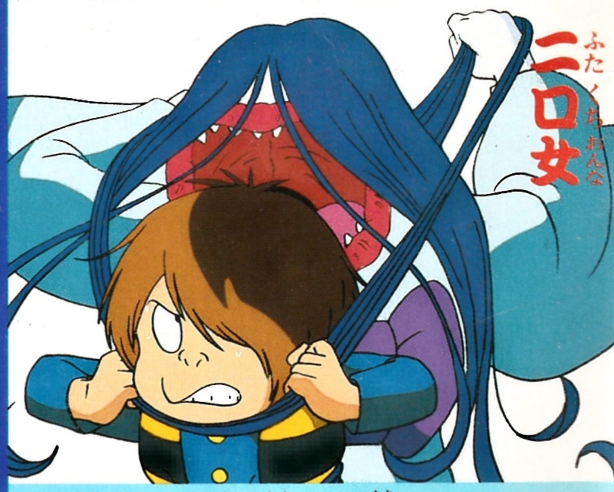
おもしろ図解　これが鬼太郎

■妖怪ランプ
妖怪つるべ火を、一か月にパン一きれでやとっている。冬は、ストーブのかわりもしてくれる、べんりなランプだ。

■霊界テレビ
霊波によってうつるテレビ。地獄など、この世とはべつの世界がみられるし、うるさいコマーシャルもない。

■リモコンげた
なんにでもすいつき、かべや天じょうもあるける。鬼太郎のおもいどおりにとばせるので、たたかうときには、強力なぶきになる。

■目玉のおとうさん
ちゃわんのおふろが大すきな、鬼太郎のおとうさん。妖怪のことは、なんでもしっている。ぺちゃんこにされても、いきかえる。



二口女

◆頭の後ろに大きな口をもっている，女の妖怪。妖怪城にすむ。

鏡じじい

◆鏡の中に人間をすいこむ妖怪。遊園地のミラーハウスにひそんでいた。

猫仙人

◆たくさんのねこを自由にあやつり、猫塚村をせんりょうした。

いっぱい！

みらいの大妖怪をめざす，妖怪の子どもたちは，真夜中に妖怪塾にいく。鬼太郎も，この塾の先生をやることがある。

▶鬼太郎

●かっぱ先生の「およぎ方教室」。

●「首ののばし方」をおしえているのは、ろくろ首先生。となりの教室をのぞくのも、かんたんだ。

蛇骨ばばあ

◆ぬらりひょんと手をくみ，鬼太郎をコンクリートづめにした。

朱の盤

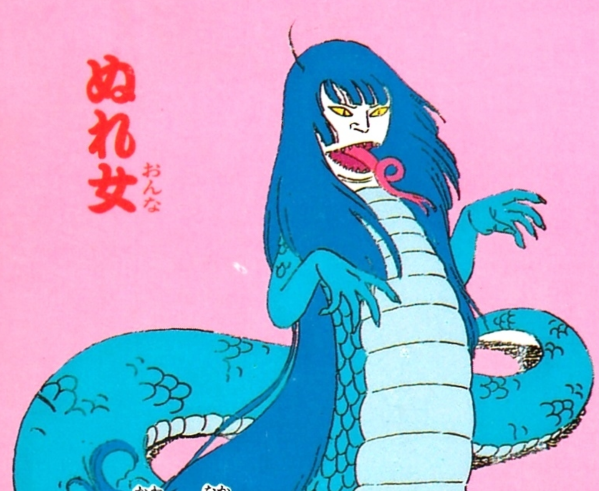
◆ぬらりひょんの子分。とつぜん大きな顔をだして，おどろかせる。

ぬらりひょん

◆妖怪の総大将といわれる，おそろしいやつ。ビルもこわせる。

妖怪塾は，楽しさ

ぬれ女



◆川の中にすむ，へびのような妖怪。人間にまきついてころす。

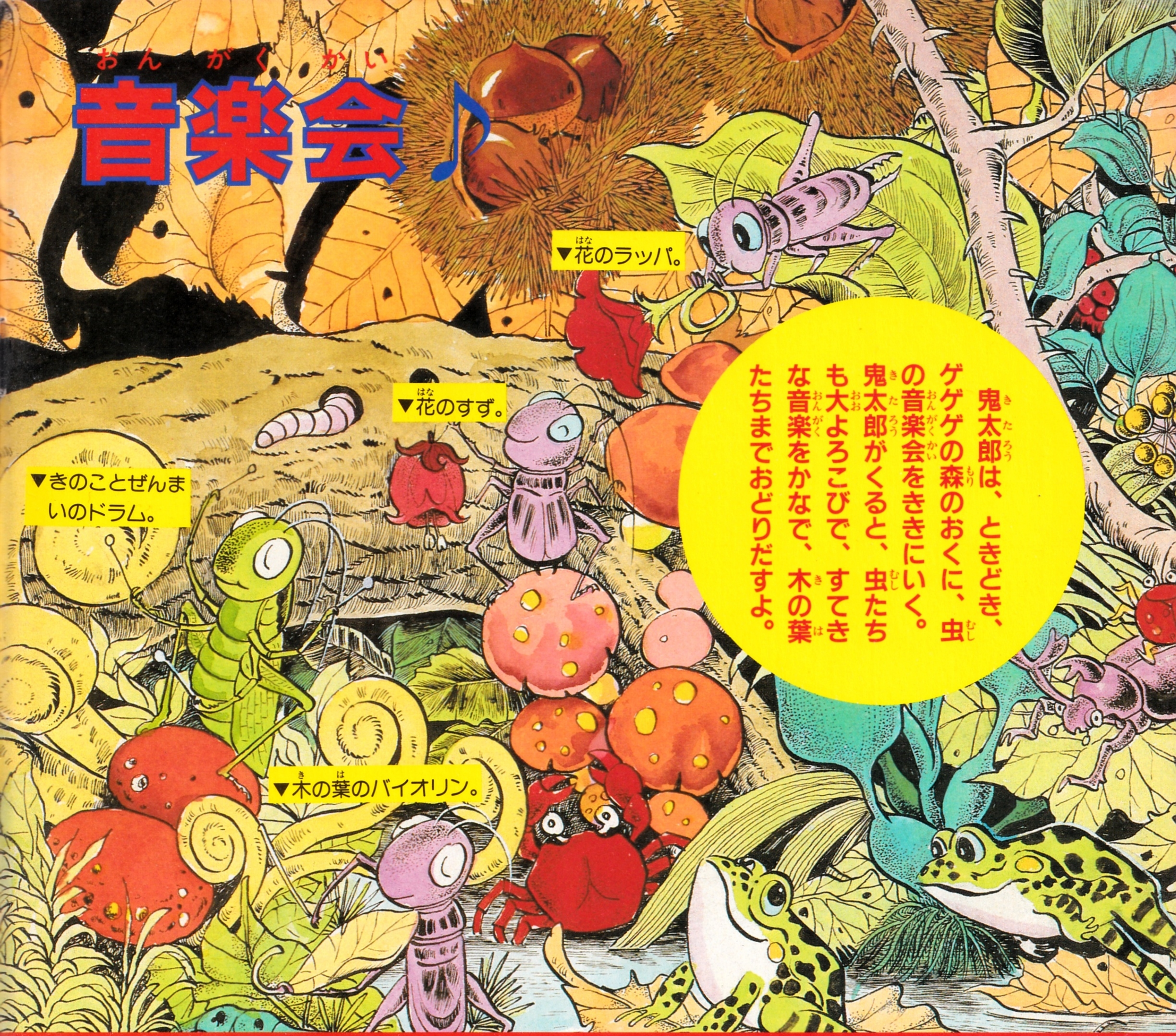
油すまし

◆熊本県の山道にでる妖怪。ゆうれい電車にのり，悪い男をこらしめた。

輪入道

◆口からはく炭素光線で，人間をダイヤモンドにしてしまう。

音楽会♪

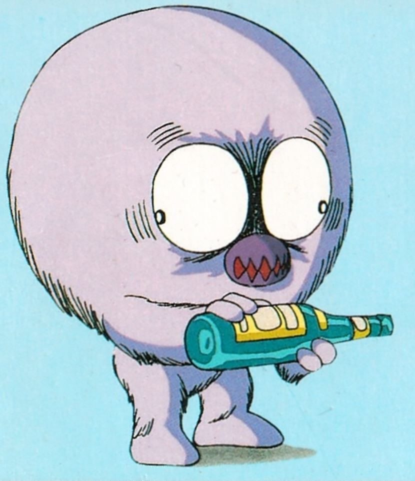


鬼太郎は、ときどき、ゲゲゲの森のおくに、虫の音楽会をききにいく。鬼太郎がくると、虫たちも大よろこびで、すてきな音楽をかなで、木の葉たちまでおどりだすよ。

やしおとこ

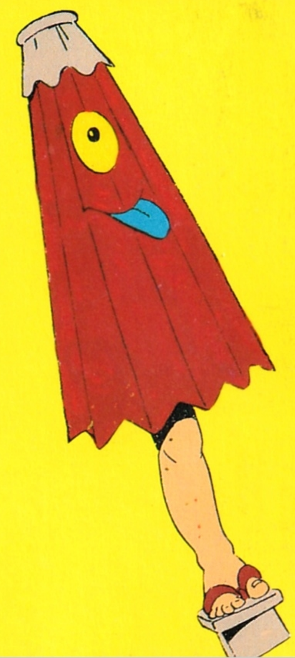
◆日本にせめてきた、南方妖怪。頭のやしの実をとばす。

キジムナー



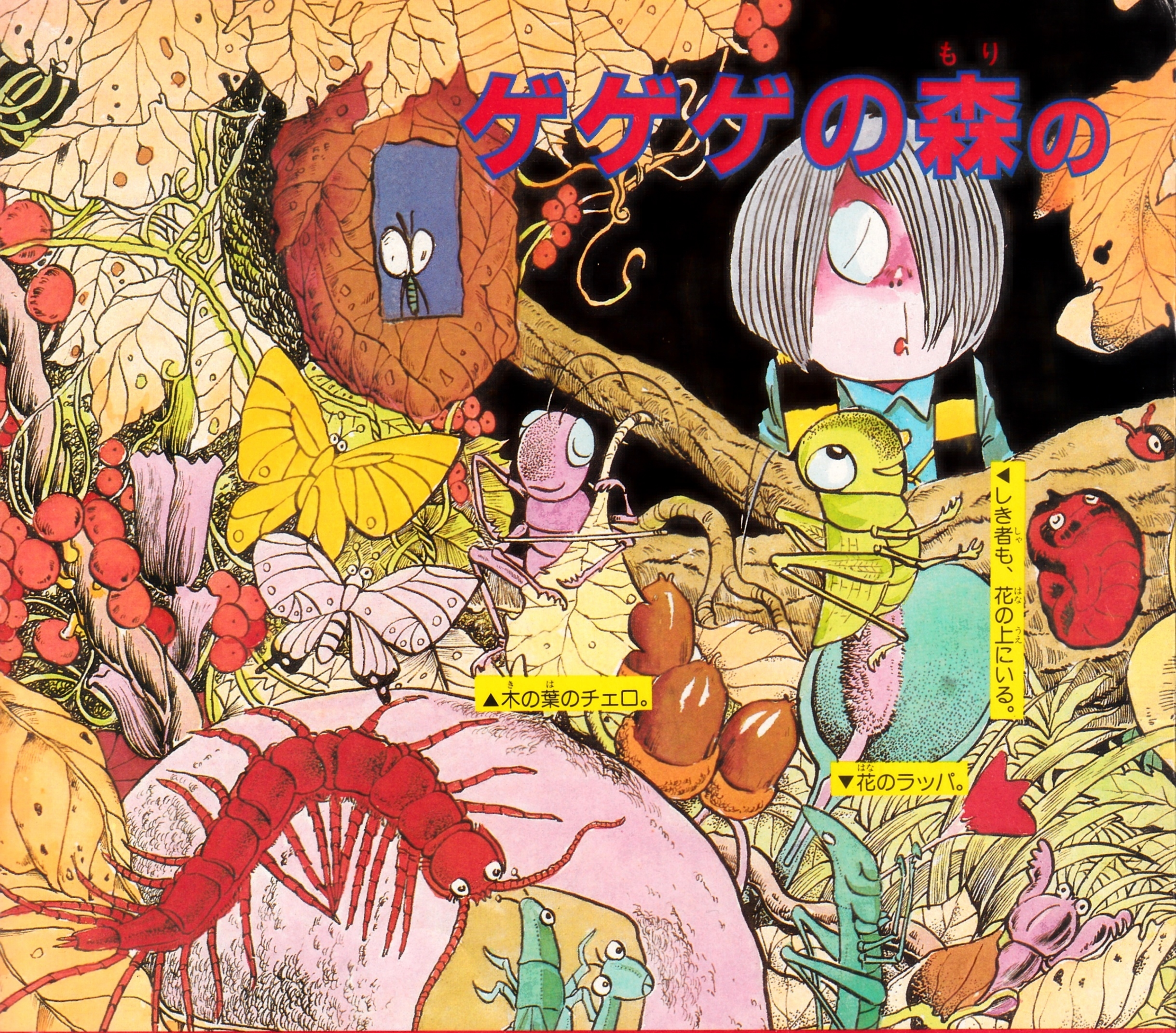
◆沖縄県にすむ，毛むくじゃらの小妖怪。ガジュマルという木にすむ。

からかさ小僧



◆一つ目で一本足の、からかさのおばけ。からだを回転させて、空をとぶ。

ゲゲゲの森(もり)の



▲木(き)の葉(は)のチェロ。

◀しき者(しゃ)も、花(はな)の上(うえ)にいる。

▼花(はな)のラッパ。

蛟竜(こうりゅう)

◆なんでものみこむ，きょだい妖怪(ようかい)。しんきろうをつくる。

チンポ

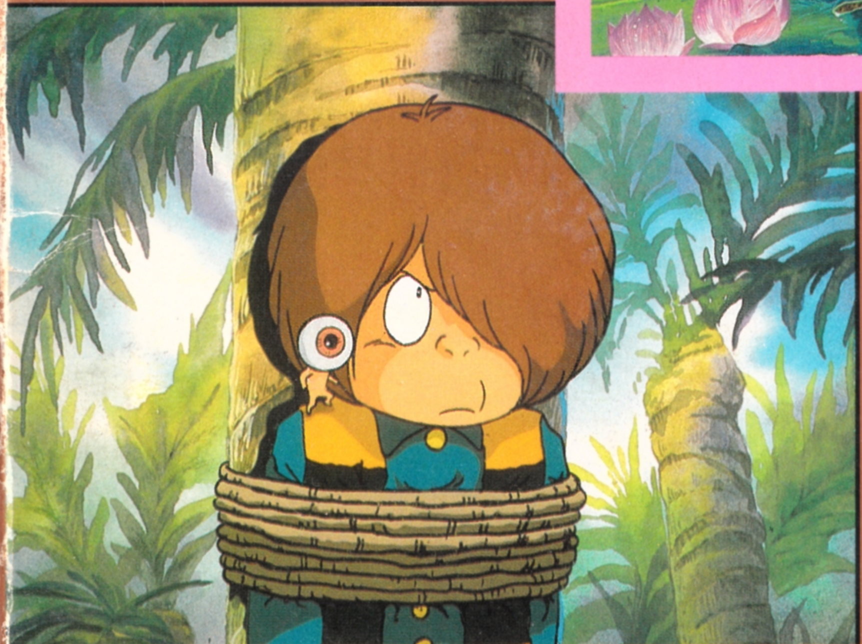
◆南方妖怪(なんぽうようかい)の１人(ひとり)。海(うみ)の上(うえ)を，ホバークラフトのようなかっこうでとぶ。

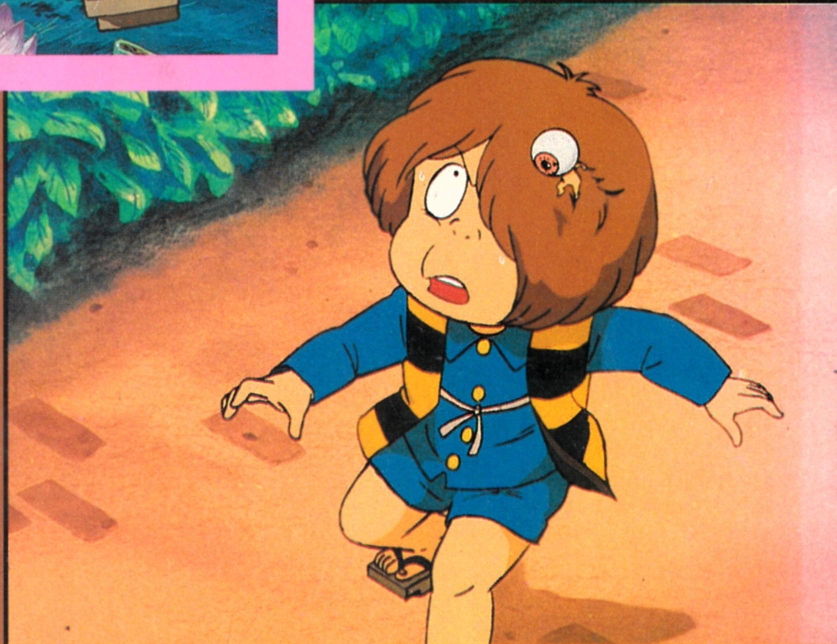
アカマタ

◆やしおとしといっしょにきた南方(なんぽう)妖怪(ようかい)で，ねずみ男(おとこ)にのりうつった。

テレビマガジン増刊 カラースペシャル13 ゲゲゲの鬼太郎 大画報 講談社

絵／水木しげる・東映動画





■テレビマガジン増刊　カラースペシャル13　〈ゲゲゲの鬼太郎　大画報〉　昭和61年２月14日発行
■編集人　田中利雄　■発行人　菅原　勇　■発行所　株式会社　講談社　〔東京都文京区音羽２―12―21
電話　東京03 -945-1111(大代表)〕　■雑誌　06576-2　印刷　共同印刷株式会社　Printed in Japan

定価370円